

## フォトキナ 記者会見

2014年4月14日/ 東京

ドイツ写真工業会 専務理事 クリスチャン・ミュラー＝リーカー

ご出席の皆様

フォトキナ 2014 の開幕まで残り 5 ヶ月を切りました。皆様のご支援のもとメディアでも新機軸を打ち出し、フォトキナは再び感動を呼び、イノベーションと多様性を特徴とする写真・イメージング産業を再び世界の注目の的とするでしょう。

フォトキナ 2014 は、マーケットに関与する全ての人々に、改めて業界の発展に明確な方向性を与え、写真・ビデオ・映像コミュニケーションのために、新しいビジネス・コンセプトとこれからの方向性を示す製品・サービスを示します。

ハマ氏のスピーチからお分かりと思いますが、各企業の出展意欲は驚くほど強く、業界大手は全てフォトキナ 2014 に顔を揃えています。この他、フォトキナ 2014 が初めてという新規出展者が多数いらっしゃいます。業界のリーディング・メッセとしてのフォトキナの重要性が改めて裏付けられたものと言えます。

「コネクティビティ」「ビデオ」「写真とビデオのための総合的サービス」という 3 つの中心テーマを掲げたことで、フォトキナは新たな出展者を獲得し業界の幅が一層広がりました。

写真とイメージングは私たちの日常にとってもはや欠くことのできないものです。皆様は、感動あふれる映像や言葉の壁を越えてグローバル化し、世界の誰もが理解できるイメージングの強い力を良くご存知だと思います。

この素晴らしいイメージングの世界を生むのが撮影機器ですから、カメラ産業を中心としたお話しになるのはごく自然な流れではないでしょうか。カメラ産業は今、市場の変化に対応を迫られています。それは一つには消費行動の変化によるものですが、他方、市場を総合的に分析する際、見過ごしてはならない幾つかの要素も関係しています。

世界のカメラ販売は何年も好調が続いてきました。そのほとんどはコンパクトカメラで、家庭で使用された場合最長で平均 3 年の寿命です。

カメラ技術がさらに画像の質を高める方向へ発展する中で、同時にスマートフォンの普及が進み撮影機器に関する消費者の志向と市場規模が変化してきています。

カメラ部門を見ますと近年、一眼レフやレンズ交換式コンパクトシステムカメラ、あるいはプロ仕様の高性能コンパクトカメラなど高級モデルへの需要が高まっており、この傾向はこれからも続くと思われます。

ただしこれらの製品の寿命が比較的長いことから（現在、平均5年）、全世界での販売台数は減っています。それでも販売総額では比較的安定しています。

一方、世界的に需要の高まりを見せるスマートフォンは、当然カメラ市場に影響を与えており、特に簡素な装備の低価格帯のコンパクトカメラはスマートフォンに代えられてしまうという影響が見られます。しかしスマートフォンがなくてもこうした傾向は避けられなかったのではないかと、スマートフォンはそれを加速しただけではないかという疑問も残ります。

私たちはスマートフォンを敵視しているわけではありません。むしろその多機能性がカメラ開発や写真・ビデオ関連のサービス提供にインスピレーションを与えてくれると考えています。

例えばWiFi機能ですが、市場からの要望で今ではほとんどの新型カメラに標準装備されています。

スマートフォンとタブレット端末と言えば皆様には当たり前と思いますが、フォトグラファーにとっては、特にカメラの制御や画像の転送に使う大切な道具でもあります。そうしたことからフォトキナ2014の中心テーマの一つである「コネクティビティ」が出てきます。

また、市場全体を分析するにはいくつかの地域で緊張が高まっている経済的な枠組み条件を無視してはなりません。むしろこれは、多かれ少なかれ全ての業界に当てはまることではあります。ただし写真・イメージング業界への影響は、他の技術分野の市場に比べれば遥かに少ないと言えます。

こうして見ると消費者が、写真・イメージング業界の画期的な技術開発にどれだけ共感しているかが、改めて認識できますし、現在の動向に不満を抱くべきではないことが確認できます。

撮影機器の台数は、将来もスマートフォンで伸びて行くでしょう。過去5年間だけでも、世界中で80億台を越えると見ております。これら撮影機器の多くはスマートフォンで、その需要が継続していることが、フィーチャーフォンの販売減少の原因となっています。

スマートフォンは今の時代「いつも携帯しているカメラ」であり、これは175年の写真の歴史で先例の無い出来事です。今日ほど多くの写真が撮られたことはありませんでしたし、世界中の写真の多くはスマートフォンがなければ存在しなかったでしょう。

しかし私たちは、消費者にとって写真が置き換えの利く単なる画像になってしまわないように注意しなければなりません。写真撮影とは何か創造的なもので写真は人間にとって失ってはならない大きな価値を持っています。

世界中で1秒間に25万回シャッターが切られていて、いっそう増える傾向にあります。その数字にも驚かされますが、当然、フリッカー、ピンタレスト、フェイスブック、インテグラムなどのポータルサイトにアップされていることも驚異的です。

スマートフォンが生み出したもう一つのポジティブな副作用は、かつてないほど多くの人々が自ら写真やビデオに関わり、写真撮影の魅力を感じていることです。つまり多くの利用者が写真撮影により深く関わり、デジタルカメラの多様な可能性を駆使したいと考えています。

このことは、私たちの業界に今後課せられる大きな課題です。スマートフォンユーザーに違いを認識してもらい、とりわけ多様な撮影技術、創造性、画質など、「質の高い」写真撮影の優れた点を理解してもらわなければなりません。

私たちの進む方向が間違っていないこと、そしてスマートフォンで撮影する人々が、高性能撮影機器の潜在的顧客であることは、各種の調査から明らかです。スマートフォン利用者の20%以上が、1年以内により性能の良いカメラを買う予定だと答えています。これはアクセサリと画像市場に継続的にプラス効果をもたらします。

この他調査では旅行やイベント、家族の出来事などが予定されていると、消費者はカメラを重視することを示しています。こうした機会には、画像にさまざまな変化を付けられることやクリエイティブな画像ができること、そしてまた目を奪われるような確かな画質を供えたカメラの右にでるものはありません。

このことはカメラ購入の主な動機についてのアンケートでもはっきりしていて、画像の質、特殊効果、マニュアルでさまざまな設定ができることが挙げられています。

2014年の見通しとしては、技術レベルの低いコンパクトカメラへの需要が後退しているため、カメラ販売台数はさらに減少すると見られます。高性能カメラについては今後も需要が伸びると予想しています。

世界のカメラ市場は個別の動きに大きな差が見られるとは言え、デジタルカメラの販売総額は伸びており、将来に楽観的な見通しを抱かせてくれます。これまでの経験から、日本の人々が先駆者としての消費行動を示し、この流れが一定のタイムラグをもって他の国々でも見られることがわかっています。

将来に向けて、全ての市場関係者に求められることですが、写真撮影がさらに多様になり、コネクティビティが容易になることで、画期的な技術、そしてより多くの可能性がもたらされることを強く消費者に訴え、私たちの商品の世界に感動を持ち続けてもらうようにすることが最大の課題となるでしょう。

2年に一度ケルンで開催されるフォトキナ ワールド・オブ・イメージングは、その点で大きく寄与します。というのも、業界全体の最新の動きを展示し、将来の展望を与えてくれるからです。

写真とイメージング抜きの世界も、フォトキナのない世界も考えることはできません。私たちの業界にとってフォトキナは世界のリーディング・メッセです。

最後になりますが、私たちの業界が記念の年を迎えることに触れさせていただきます。写真はカメレオンのように変化し、175年の歴史の中で常に新しく、より良く、幅広く、そしてその結果として活動範囲を広げてきました。

私たちはこれを共同イベント「世界最大のフォトグローブ」で目に見えるように展示します。ここでは写真の175年とフォトキナ2014を契機に、世界中からフォトキナのポータルサイト [www.photoglobus.de/en](http://www.photoglobus.de/en) に画像をアップロードしていただき、写真の歴史をたどるユニークな時間の旅を実現する予定です。

皆様がこれを記事に取り上げ、私たちのイベントをご支援いただければ、大変嬉しく思います。お配りした資料の中には、世界的にも例を見ないこのイベントについて、また将来への展望を持った「写真の175周年」について、詳しいインフォメーションを添えてあります。

ご清聴に感謝すると共に、ケルンのフォトキナ2014会場で、皆様にお会いできますよう願っております。

**【お問合せ先】**

ケルンメッセ株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6 恵比寿ISビル5F

TEL : 03-5793-7770 FAX : 03-5793-7771

e-mail: kmjpn@koelnmesse.jp / URL: www.koelnmesse.jp